

続・奇跡はある

(06)

題字・林田八郎

徳永 耕一

宗方町第二期団地 もとの湯

二〇二二年二月、かねて噂されていた「ゆめタウン」計画が正式に発表された。場所は、私たちが計画している宗方町「第二期団地」のすぐ近くだ。完成予定は二〇二五年度とのこと。それを聞いたとき、私たちは第二期団地が「ゆめタウン」と軌を一にして完成することを夢見た。しかし、開発申請の最終段階になって突然、手続きが暗礁に乗り上げた。その理由は、対象土地の一部が農業生産基盤整備事業として、僅かだが補助金を受けていたからというもの。

ひとたび補助金が入れば八年間、農地以外として利用するための手続きができないというのはあまりに農業者を縛り過ぎてはないかと考え、補助金返還を条件にした弾力的運用を県に打診したが、解決の見込みは立たないままだ。

しかしこの間、野中さんや北村測量設計の北村社長や、誰よりも地権者の皆様方が、この問題に真剣に取り組んでくれて、皆の連帯感はむしろ深まった。

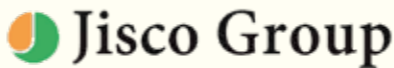
奇跡は望めないかもしれないが、「転んでもただでは起きない」とばかり、今、新たな展開に挑戦しようとしている。

―もとの湯―

二〇二二年一月、日頃親しくしているシモハマ不動産の下濱誠一郎社長から「物件を紹介したい」との電話が入った。その物件は、諫早市本野町にある「もとの湯」という温泉施設だった。



もとの湯外観



ジスコ不動産株式会社
ジスコホテル株式会社
ジスコ子ども支援株式会社

長崎県諫早市永昌町4-26

TEL | 0957-27-1112 | FAX | 0957-26-1777

「たしか、以前行ったことがあるな」とは思ったが、記憶は曖昧だった。

しかし、数日後、下濱社長や所有者の株式会社高橋の責任者の方の案内で現地を見たとき、以前家族と行った時の記憶が蘇ってきて、懐かしさを感じた。と同時に、当時は気づかなかつたが、建物が大きくて手入れも行き届いており、驚いた。しかも、駐車場は数百坪もあり、そこも何かに利用できそうな気がした。

「他にも検討しているところがあります」と言う下濱社長の言葉に押されて、「購入を検討します」と、つい強いコミットメントをしてしまった。

いったん口にする、人間なかなか後へ戻れないものだ。

「その言葉に沿わなければ」と、使い道を模索したが名案が浮かばず、約束した検討期限がきたので、下濱社長に「購入します」と返事をした。

今、温泉掘削の再申請や大衆浴場法に基づく利用申請を進めているが、申請はスムーズに進行している。傷みが目立った箇所も補修も進行中だ。

そうした中で、「いつからオープンですか?」とか「ヨガをしていました」とか「お湯の質がとても良かったですよ」など色々な期待のお声が耳に入ってくる。

しかし、時は折しもコロナ禍の真っ只中。閉店するところはあるも、新たにオープンする公衆浴場などないだろう。まして、経験もノウハウもない当社としては、嵐の中を簡単に航海へは出て行けない。

とは言え、この地域の多くも市街化調整区域や農振地域として指定され、縛りを受けたまま目の目を見ずに人口減少と過疎化に悩む地域なので、私たちの手で少しでも光をもたらすことができればとの思いは募る。

時間をいただきながら、今後徐々に計画を固めてゆきたい。

〈次回10月13日掲載予定〉